

有機農業

農薬・化学肥料の不使用・使用低減

温室効果ガスの削減・吸収

スマート農業省力化技術

食品ロス削減

国産、地場産の供給拡大

その他

## ファームサポート千葉合同会社（千葉県千葉市）



### 【生産概要】（令和5年産）

- ・農地面積：約1.2ha（露地栽培）
- ・栽培品目：ブルーベリー、落花生、かんしょ、ニンジン、からし菜、ミニ大根 等

### 【経営概要】2015年 新規就農

- ・2017年 ファームサポート千葉合同会社設立
- ・代表 金丸 博子
- ・事業内容 農業、農産物卸(百貨店・スーパー・飲食店)、農産加工品開発、マルシェ主催、農産物収穫体験、竹炭製造販売 等

### ■ 取組の特徴

- 経営理念として「千葉県の農業と安心な農産物を届けたい」を掲げ、環境問題・遊休農地解消・農福連携など様々な問題に取り組む。
  - ・遊休農地を借りて有機栽培に取り組む。農薬、化学肥料、除草剤、殺虫剤は不使用。
  - ・協力農業者から農産物を買取り、百貨店・スーパー等において販売。
  - ・里山保全活動として放置竹林の整備を行い、切り出された竹を焼いた竹炭を畑に使用。
  - ・自ら生産した農産物を、福祉施設と連携して、ジャムやコンフィチュールに加工して販売。

### ■ 取組のメリット

- ・農産物卸販売では、週に数回、近隣の農業者が生産した農産物を買取り、百貨店やスーパーの一角に、収穫から24時間以内に販売する「24コーナー」を設け、鮮度をセールスポイントにして販売。農業者の収益の安定と向上に貢献。
- ・近年、問題となっている荒れた竹林の竹を伐採して竹炭を作るプロジェクト（3企業で協力展開）に取組み、竹炭を畑の土壌改良に活用。また、食用の「竹炭パウダー」を製造して販売（保健所許可取得済）。
- ・自ら生産した農産物を、福祉施設や企業と連携して加工品（マスタード・ジャム・コンフィチュール・干し芋）を製造して販売。
- ・竹炭栽培によるブルーベリーと落花生（おおまさり）・農産物卸販売「24コーナー」の地場野菜・加工品のマスタードが千葉市食のブランド『千』に認定され、事業を発展。

### ■ 今後取り組みたいこと

- ・マルシェや収穫体験を通じ、消費者の有機農業への意識を高めたい。
- ・加工品の開発により農福連携の取組を拡大したい。

事務局所在地：千葉県千葉市緑区土気町

お問い合わせ：<https://farmsupport-chiba.jimdofree.com/>